

令和7年度第4回茅ヶ崎市立病院地域医療支援委員会会議録

議題	(1) 患者支援センターの業務実績について (2) がん相談支援センターの業務実績について (3) 救急搬送状況について (4) その他
日時	令和8年3月13日(金) 午後7時00分 開会 午後7時35分 閉会
場所	オンラインにて開催(茅ヶ崎市立病院 別棟会議室)
出欠席者氏名	(出席) 高山慶一郎委員長、下里隆史副委員長、長岡健介委員、山口哲也委員、大木教久委員、横山大樹委員、大久保敦子委員、大久保一郎委員、北畑晶久委員 (欠席) 勝山貴美子委員 事務局(中沢病院事業管理者、藤浪病院長、栗山副院長、岩澤副院長兼事務局長、山岡副院長兼看護部長、益原診療部長兼患者支援センター所長、中戸川診療部長、高瀬医事課長、平山患者支援センター担当長、岡野がん相談専従看護師、高橋医事課主査) (欠席) 河野中央診療部長
資料	・地域医療支援委員会次第 1 患者支援センターの業務実績について(令和7年4月から12月の実績) <ul style="list-style-type: none"> ・紹介率・逆紹介率 (資料1-1) ・診療科別紹介率・逆紹介率 (資料1-2) ・茅ヶ崎市立病院 紹介元・逆紹介先医療機関一覧 (資料1-3) ・登録医救急診察専用回線による紹介患者集計表 (資料1-4) ・予約検査実績 (資料1-5) ・相談日誌(延件数) (資料1-6) ・退院支援実績 (資料1-7) ・小児周産期実績 (資料1-8) ・地域医療機関と連携した研修会等実績 (資料1-9) 2 がん相談支援センターの業務実績について(令和7年4月から12月の実績) <ul style="list-style-type: none"> ・がん相談支援センター実績報告 (資料2) 3 救急搬送状況について(令和7年4月から12月の実績) <ul style="list-style-type: none"> ・病院別救急車搬送件数の状況(茅ヶ崎市消防) (資料3-1) 科別救急車搬送件数の状況 ・茅ヶ崎市消防 茅ヶ崎市立病院搬送状況(行政地区別) (資料3-2) 4 その他
会議の公開・非公開	公開
傍聴者数	0名

●事務局（益原診療部長兼患者支援センター所長）

定刻となりましたので、令和7年度第4回茅ヶ崎市立病院地域医療支援委員会を開会いたします。本日は、皆様お忙しいところお集りいただき、ありがとうございます。

本日の司会進行を務めます、患者支援センターの益原でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、委員10名に対し7名（のちに2名出席）の委員に出席いただいております。茅ヶ崎市立病院地域医療支援委員会規則第5条第2項の規定により、会議が成立しておりますことをご報告いたします。

それでは、議題に入らせていただきます。これより先の議事進行につきましては高山委員長にお願いいたします。

高山委員長、よろしくお願いいたします。

○高山委員長

茅ヶ崎医師会の高山です。円滑な議事進行を心掛けてまいりますので、委員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

それでは議題に移ります。まず、議題1の患者支援センターの業務実績について、事務局より説明をお願いします。

●事務局（平山担当長）

それでは、令和7年度4月から12月までの患者支援センターの業務実績について説明させていただきます。

患者支援センター担当長の平山です。よろしくお願いいたします。

資料1-1をご覧ください。こちらは令和7年度の紹介率、逆紹介率の表です。紹介率の平均は76.4%、逆紹介率の平均は112.5%です。令和6年度と比較して紹介率は3.5ポイント増加、逆紹介率は3.9ポイント増加しています。

下段にあります、地域医療支援病院の承認要件2の紹介率65%以上、逆紹介率40%以上を満たしております。

資料1-2をご覧ください。令和7年12月と4月から12月累計の診療科別紹介率、逆紹介率の表です。右にある累計の欄をご覧ください。

紹介率は、放射線診断科99.8%、呼吸器外科96.4%、眼科94.8%の順になっており、逆紹介率は腎臓内科、呼吸器外科、循環器内科の順になっています。

資料1-3をご覧ください。令和7年度の紹介元、逆紹介先の医療機関一覧です。紹介元医療機関名と紹介患者数、そのうち予約検査数、前年度実績、前年度比を表しています。

紹介元医療機関は、やまもと内科クリニック、藤川整形外科、大木医院、水沼医院の順に多くなっています。

逆紹介先医療機関は、やまもと内科クリニック、大木医院、湘南いしぐろクリニック、藤川整形外科の順に多くなっています。

前年度と比較して、紹介患者数が最も増加したのは6番の湘南いしぐろクリニックの110人増で、続いて12番の湘南藤沢徳洲会病院の83人増、2番の藤川整形外科73人増となっています。

資料1-4をご覧ください。令和7年度の登録医救急診察専用回線、循環器ホットラインの紹介に

ついてです。

対応件数は 565 件で、前年度より 78 件増加しました。そのうち入院につながったケースは 230 件で昨年度と比較すると 18 件増加し、入院割合は 41%になりました。小児科への紹介が全体の 58%を占めており、小児科の入院割合は 50%となりました。

資料 1-5 をご覧ください。令和 7 年度の予約検査の件数表です。

CT、MRI については検査需要が高く推移しています。特に MRI は 125 件増加し、前年度比 117.9%となっています。

資料 1-6 をご覧ください。令和 7 年度月別相談延べ件数表です。

相談対応は看護師と社会福祉士が行っており、4 月から 12 月は新規 2,041 件、継続 5,026 件、合計で 7,067 件と前年度より 107 件減少しています。また、相談対応延総数は 9,341 件で前年度より 60 件増加しています。

MixJamクラウドを活用した転院調整は 478 件で、前年度より 25 件増加しており、湘南東部二次医療圏以外の AOI 七沢リハビリテーション病院、ふれあい平塚ホスピタルがシステムを利用し、利便性が高まっています。

相談対応の多い項目としては、在宅退院に向けての退院相談が最も多く 2,516 件、次に転院に向けての退院相談が 2,284 件、次に社会福祉制度の相談が 1,286 件となっています。

対応方法は電話での相談対応が 3,114 件と最も多く、対面での相談件数は 2,768 件となっています。

資料 1-7 をご覧ください。令和 7 年度の入退院支援の実績表です。退院患者数は 8,564 名、そのうち退院支援スクリーニングで該当ありの患者が 6,478 名、入退院支援加算 1 算定患者は 5,963 名、入院時支援加算算定患者は 2,798 名、その他、退院前後訪問、介護支援連携指導、退院時共同指導 2、多機関共同指導のデータです。介護支援連携指導、退院時共同指導 2 を除いたすべての項目で前年度を上回っています。

資料 1-8 をご覧ください。令和 7 年度の小児周産期医療に関するデータになります。分娩件数は 270 件、母体搬送数は 18 件、新生児搬送件数は 40 件で前年度を下回っております。訪問型産後ケアは 6 件、日帰り産後ケアは 12 件、メディカルショートステイは 20 件対応しています。日帰り産後ケア、メディカルショートステイを除くすべての項目で前年度を下回っています。

資料 1-9 をご覧ください。令和 7 年 4 月から 12 月までの地域医療機関と連携し、茅ヶ崎市立病院で開催した研修会等の実績になります。合計 16 回開催し、501 名が参加されました。研修会や症例検討会などカンファレンスを通じ、顔の見える関係性と連携強化を図れるように継続的に進めていきます。報告は以上になります。

○高山委員長

説明が終わりました。議題 1 について、委員の皆さんからのご意見、ご質問をお伺いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○高山委員長

特に質問等ないので、議題 1 については終了したいと思いますがいかがでしょうか。

ご異議がないのでこれで終了とさせていただきます。続いて議題 2 のがん相談支援センターの事業実績について、事務局より説明をお願いいたします。

●事務局（岡野看護師）

はい。がん相談支援センターを担当しております、がん相談専従看護師岡野です。よろしくお願いいたします。

それでは、がん相談支援センター令和7年度4月から12月の業務実績についてご説明いたします。資料2をご覧ください。

1) の令和7年4月から12月までの延べ相談件数は1,720件で前年度より200件増加しました。

また、相談実人数は437名で前年度より100名増加しました。

同日に相談者が、がん相談支援センターを複数利用した場合には、その度に1件とカウントするため、関わっていく回数に伴い多くなっています。また、継続して関わる方の中で、繰り返し話を聞いてほしい、近況報告に来たなど受診の際に来られる方もいます。

最も多い相談回数は46回で、5回以上相談のあった方は77名でした。相談対応が重なる場合には、患者支援センターのスタッフに対応を依頼し、相談予約で後日対応しています。

2) の受診状況別がん相談件数に関しては自施設通院中が1,270件、自施設入院中が367件、他施設が56件、匿名その他は27件でした。院内では、担当医師から直接依頼を受けたり、医師事務や看護師から情報提供があり、介入を開始しています。他施設では、患者さんやご家族からの相談、その他、包括支援センターや訪問看護師から相談が入り、介入しています。ケースによっては、地域の関係機関と情報共有しながら進めています。

3) の受診状況別相談方法は、対面相談が1,350件、電話相談が370件でした。

4) のがんの主たる部位については、乳房が131件で最も多く、前立腺51件、肺49件、大腸が35件でした。食道・胃・大腸・肝胆膵を合わせた消化器領域は114件、前立腺・腎・尿管・膀胱を合わせた泌尿器領域は88件です。乳腺外科は、告知の際に同席を依頼されるケースが多いです。

5) のがんの状況については、初発が1,134件、再発・転移551件でした。

6) の現在の治療状況については、治療前が356件、治療中908件、治療後14件、緩和ケアのみ280件でした。

がん相談支援センターでは匿名の方などもお受けしています。その為、相談の際に詳細内容を話したくないという方もおられます。分かる範囲でのご相談とお伝えし、情報提供などを行っています。

7) の相談内容の内訳については、症状、副作用、後遺症などの相談が1,258件、不安、精神的苦痛が1,100件、がんの治療について795件、患者、家族間の関係248件、在宅医療241件でした。患者家族間の関係についての具体的な相談内容は、がん治療のため患者が他県から子どもの近くに移り住んだケースです。副作用や慣れない環境への不安からその方に頻回に連絡するようになり、生活や仕事に影響することがありました。そのため、患者は施設に入居し訪問看護師や相談できる相手が身近になったことで安心して生活できるようになりましたが、子供としてはこれで良かったのか、もっと自分が見るべきだったのではないかと葛藤し、がん相談員に相談を続けていました。がん相談員は、訪問看護師と情報共有しながらサポートした結果、患者や子どもも気持ちが落ち着き、これで良かったと落ち着かれたケースがありました。がん治療に伴う生活の変化は家族に影響を与えること、患者家族に対しても支援が必要なケースでした。

グリーフケアに関しては、家族が亡くなったとご挨拶にいらっしゃるケースがあり、その際に思いをお聞きするようになっています。また、気がかりなことがあれば訪問看護師もグリーフケアを行っているため、情報共有しています。

8) のがん相談支援センターへの専門家派遣依頼件数についてです。専門家派遣依頼に関しては、

相談対応のなかで患者さんにご案内をしていますが、今年度希望される方はいらっしゃいませんでした。専門家派遣は神奈川県がん疾病対策課に連絡して要請します。調整に1から2週間程度要しますので、あらかじめ患者さんには少し時間がかかることをお伝えしています。社会保険労務士に関しては、急いでいる場合などもあり、相談者の状況により神奈川産業保健総合支援センターの相談窓口をご案内しています。こちらについては電話やメールでのご相談になり、場合によって面談対応になるとのことです。体調によって神奈川産業保健センターまで出向くことが難しい場合は自宅近くの公民館などに来てくれるそうです。今後もがん相談支援センターの支援内容を知ってもらえるよう、周知活動を続けていきたいと考えます。説明は以上になります。

○高山委員長

はい、説明が終わりました。議題2について、委員の皆様からのご意見ご質問をお伺いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○高山委員長

特にないようですので、議題2については終了させていただきたいと思いますがいかがでしょうか。異議なしということで、議題2については以上を持ちまして終了といたします。続いて議題3、救急搬送の状況について事務局より説明をお願いいたします。

●事務局（高瀬医事課長）

続きまして、議題3救急搬送状況について、ご説明いたします。

説明は医事課長の高瀬が説明いたします。資料については、資料3-1と資料3-2でございます。それでは資料3-1上段の表をご覧ください。こちらは、茅ヶ崎市消防の救急搬送件数を搬送先の医療機関ごとに月別で集計したものでございます。

表の右側、年度累計当月までの欄をご覧ください。今年度4月から12月までと前年度の4月から12月までの合計搬送件数と、各病院への搬送割合を表したものでございます。今年度4月から12月の茅ヶ崎市消防の全体搬送件数につきましては12,391件で前年度の12,571人から180件減少しております。しかしながら、その様な中で当院への搬送件数は3,986件と前年度の3,577件から409件増加しており、搬送割合についても32.2%と前年度の28.5%から3.7ポイント増加しております。

なお、4月から12月における他院への搬送状況につきましては、茅ヶ崎中央病院を除きほとんどの医療機関で搬送割合が減少しており、当院への搬送割合が増加している状況でございます。

次に、下段の表をご覧ください。こちらは、診療科別に救急車の受け入れ件数と、そこから入院した患者数を表したものでございます。表の1番下、入院率をご覧ください。今年度の4月から12月までの入院率は10月に40.9%と40%を超えている者の、平均では37.2%となっております。

なお、前年度の39.0%に比べて1.8ポイント減少しているところでございますが、これは、救急車の受け入れ件数が前年度3,738件から今年度は4,067件と329件増加しているところでございますが、救急車受け入れからの入院件数が前年度の1,456件から今年度は1,513件と57件の増にとどまったということが原因かと考えているところでございます。そのため、前年度に比べ受け入れ件数も入院件数も増えていますが、入院率については減少した結果となりました。

続きまして、資料3-2をご覧ください。こちらは4月から12月までの茅ヶ崎市消防による市立

病院の搬送件数の割合を行政地区別に分類したものでございます。資料の下側にある合計欄をご覧ください。表の1番右の32.2%が3-1の資料でお示した茅ヶ崎市消防からの市立病院に搬送された割合でございます。

当院に搬送される患者さんの地区別の割合につきましては、松林地区からの搬送割合が最も多く33.1%、次に鶴嶺地区からが28.0%、茅ヶ崎地区から24.4%の順となっております。前年度と比較し、松林地区からの搬送割合が33.8%から33.1%と0.7ポイント減少しています。説明は以上でございます。よろしくおねがいします。

○高山委員長

はい、説明ありがとうございました。議題3について、委員の皆様からのご意見、ご質問等がございますでしょうか。

はい、消防の方よろしくおねがいします。

○北畑委員

茅ヶ崎消防の北畑と申します。よろしくおねがいたします。

ご質問が一つございます。資料3-1の下段にある科別救急車搬送件数の状況で、合計の4,067件の受入れをして1,513件が入院し割合として37.2%は分かりますが、診療科の中で、特に腎臓内科が目立つのですが、受入数が64に対して入院数が99と入院数が受入数を超えている診療科が見られます。その理由について少しお聞かせ願えたらと思います。

○高山委員長

事務局より、説明をお願いします。

●事務局（高瀬医事課長）

はい。資料3の1の下段の部分でご質問いただきました。

この下段の表におきまして、受け入れ数というものにつきましては、救急外来で受け入れた患者さんとなりまして、例えば1番上の総合内科につきましては、救急医が受け入れた数となっております。

この表の下の方、欄外の※印の1番上にもございますが、入院数の確保の数字につきましては、総合内科からの入院数ということでお示しさせていただいているところでございます。

例えば、4月の総合内科につきましては、受け入れが105で入院数が106となっているのですが、この106については、そこから下、脳神経内科から歯科口腔外科、リハビリと放射線科を除いた20診療科に入院が振り分けられるような形となっております。

従いまして、この4月ですと、腎臓内科は括弧で6ということで、振り分けられた数が6という形になっております。

これをこう追求していきますと、腎臓内科そのものの医師が受け入れた数よりもその分数が多くなるといったような状況でございます。説明は以上でございます。

○高山委員長

事務局からの説明でよろしいでしょうか。

○北畑委員

ありがとうございました。今後ともよろしくお願ひいたします。
以上です。

○高山委員長

その他、何かご質問等ございませんでしょうか。

○高山委員長

では、ご質問がないようなので、議題3についてはこれで終了とさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。では、異議なしということで議題3は終了といたします。
続きまして議題4、その他について、事務局および委員の皆さんから何かございませんでしょうか。

○高山委員長

特になければ本日の議題は全て終了いたしました。
事務局から、次年度の会議について日程を報告していただけますでしょうか。

●事務局（高橋医事課主査）

はい、ありがとうございます。

次年度の開催ですが、本日ご参加いただいている委員の皆様の任期が令和8年6月までとなっておりますので、もしかするとご出席されない委員の方もいらっしゃるかもしれませんが、令和8年度の地域医療支援委員会の開催予定は、7月3日金曜日、10月16日金曜日、12月17日木曜日、令和9年3月12日金曜日を予定しており、時間は19時からを予定しています。よろしくお願ひいたします。

○高山委員長

それでは各委員の皆様、ご出席、ご参加等よろしくお願ひいたします。

皆様、ご協力ありがとうございました。

以上をもちまして令和7年度第4回茅ヶ崎市立病院地域医療支援委員会を終了といたします。
どうもお疲れ様でした。